

枕崎市 令和5年1月号 地域学校協働活動だより

インターネットでの枕崎市ホームページの検索方法

枕崎市地域学校だより



発行
枕崎市
教育委員会
生涯学習課

明けましておめでとうございます。今年も市内で行われた様々な地域学校協働活動を紹介していきます。今年もよろしくお願いいたします。

～郷土芸能の「駒水ヤンセ踊り」を学習 市民芸能祭で踊りの披露～ 別府小学校

別府小学校では6年生の郷土教育として、令和2年度から「駒水ヤンセ踊り」の学習を行っています。今年度は5回の練習に取り組み、11月2日の小学校の学習成果発表会、11月6日の枕崎市総合文化祭の市民芸能祭で踊りの披露を行いました。

「駒水ヤンセ踊り」は、別府地区の駒水に古くから伝わる郷土芸能です。「駒水ヤンセ踊り保存会」の人たちが学校に来て子供たちに踊りを指導し、地域ぐるみで踊りを伝承しています。

最初は「ヤンセ踊り」独特の拍子に、なかなか踊りを揃えられなかった子供たちでしたが、練習の回数を重ねるたびにめきめき上手になりました。

学習成果発表会は子供たちだけの踊りの披露でしたが、市民芸能祭では駒水ヤンセ踊り保存会と一緒に踊りを披露しました。狩衣姿にキツネの面をかぶった古式ゆたかな踊りに、観衆の拍手喝采を浴びていました。



市民芸能祭で保存会と一緒に踊りを披露

～12種類の「昔の道具」を体験～ 立神小学校

立神小学校では、11月4日に3年生の授業で、昔の道具を使っての体験活動・調べ学習を行い、実際に道具を使って「昔のくらし」を体験しました。立神地区公民館の青少年講座も兼ねており、立神校区の老人クラブの32名の方々に、千歯こぎ、足踏み脱穀機、唐箕（とうみ）、箕（み）・ふるい、杵つき、石臼ひき、えさくだき、竹細工、お手玉づくり、めぐり棒、かつお節売り、塩作りの12種類の昔の道具の使い方を分かりやすく教えていただきました。



かつお節売りの「チキイ」を上手に扱う児童

この学習で今と昔の移り変わりを知り、地域に住む先輩たちと触れ合うことにより地域の良さや温かさを感じることができました。

昔の道具を体験するときを使う「稲わら」や「稲の粉（もみ）」「そばの実」などは、老人クラブの方々が毎年準備してくれています。

また、今年も腹皮やさつまいもをいただきました。子供たちは、郷土食を食することにより、風土や暮らしの中で継承されてきた立神の食文化を味わうこともできました。子供たちの記憶に残る体験活動となりました。

学校応援団ボランティア 募集中！ 詳しくは 生涯学習課まで TEL76-1286

～たくさんの御協力をいただきながら… 5年生「もちつき」～ 桜山小学校

12月10日、5年生は自分たちで栽培、収穫したもち米を使って「もちつき」を行いました。今回も、米の栽培から収穫までお世話になった山崎己代治さんをはじめ、桜山校区老人クラブの方々、5年生保護者のみなさんに御協力をいただいて実施することができました。

見ていると簡単そうに見えるもちつき…。実際にやってみると、きねは重く、つき上がるにはかなりの体力が必要であることがわかりました。でも、粒状だった米が少しずつもちの形になっていき、最後はうすの中で、1つのきれいなもちの塊になっていく様子は感動でした。

もちを丸める作業もひと苦勞でした。老人クラブの方々は大変器用にそしてきれいに丸めていきますが、そう簡単にはいきませんでした。子供たちは指導していただきながら心を込めて丸めていきました。

完成したもちは、それぞれ持ち帰っておいしくいただきました。



豪快に杵を振り下ろして餅つき

～九九の暗唱をボランティアが お手伝い～ 枕崎小学校

枕崎小学校では、11月24日と12月9日に2年生2クラスの算数の授業で、「かけ算九九の暗唱」を地域のボランティアの方がお手伝いしました。

かけ算九九を覚えるのは、小学2年生のメインイベントと言える学習です。「かけ算九九がんばりカード」を使って、一の段から九の段まで覚えられているかの確かめをします。



7の段を暗唱する児童 - ハンコをゲット

昨年が続いて枕崎校区の老人クラブの方々が、各クラス3名ずつ、6名の方が2回来校してお手伝いをしてくださいました。

子供たちが九九を暗唱するのを確かめて、できていたら「凄い」「良くできました」と褒めながら合格のハンコを押します。できていなかった子供には「頑張ろうね」「もう少し」などと励ましてあげます。

子供たちは何度も九九の暗唱を聞いてもらいながら、全部の段に合格のハンコを貰えるように頑張っていました。

～防災教室で 災害への備えの 大切さを学ぶ～ 立神小学校

立神小学校では枕崎市役所の防災担当の方に来ていただき、11月30日に5、6年生を対象に防災教室を行いました。総務課危機管理対策係の窪園さんが、「もしもに備えよう」「もしもを考えよう」をテーマに、「災害はいつ起こるか分からないので、普段から災害時に必要なものをリュックに入れて準備しておくことが大事である。」との話がありました。また、リュックにはどのような防災グッズを入れたら良いか、クイズを交えて子供たちに分かりやすく説明しました。

子供たちには市役所が備蓄している非常食の缶詰と防災のチラシが渡されて「家に持って帰って家族の人と防災についての話し合いをしてください。」とのお願いがありました。

クイズその1 「非常用持出袋に入れる食料の選び方で、一番優先される条件は次のどれでしょう」

- ① 高カロリーで軽量 ② 保存期間が長い

正解は・・・① 高カロリーで軽量 です。非常用持出袋の出番は短い期間の避難が予想されます。保存期間が長いものより、高カロリーで軽量の食料を入れて、定期的に交換しましょう。



備えの大切さについて話す窪園さん